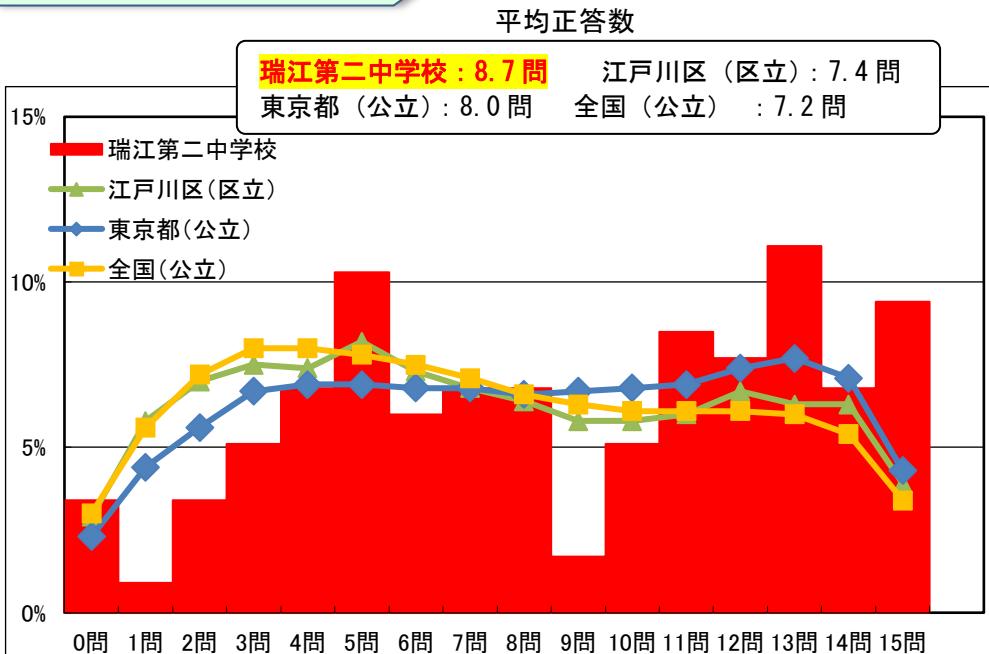
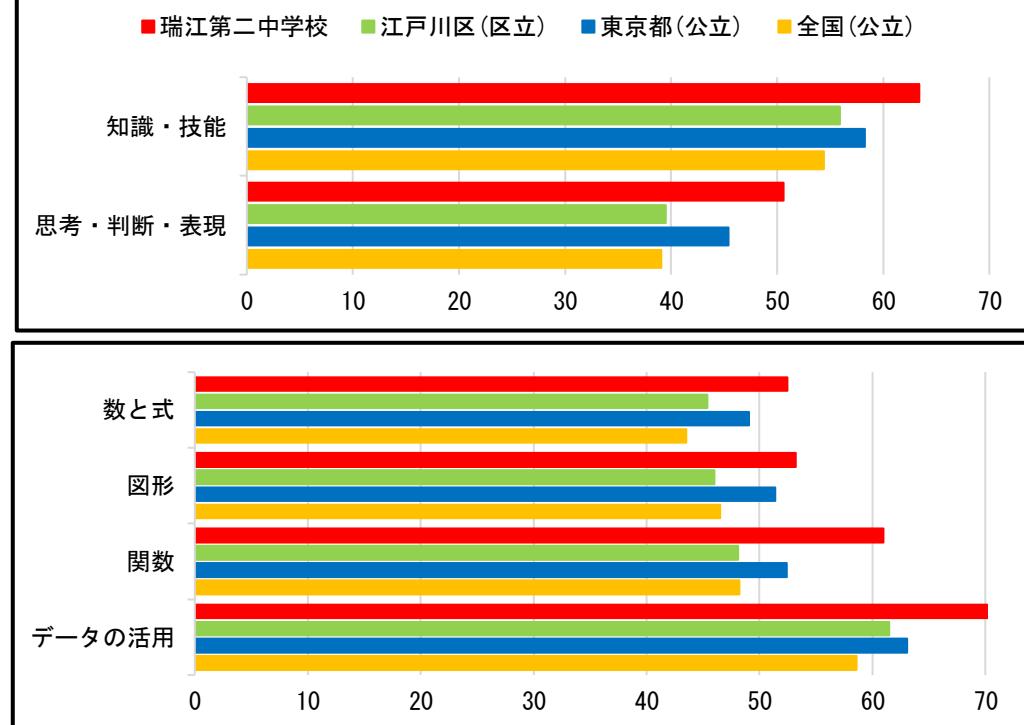


令和7年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】瑞江第二中学校

正答数分布



「領域別」の結果



上位 ← → 下位

数学	A層 12~15問	B層 8~11問	C層 4~7問	D層 0~3問
瑞江第二中学校	35.0	22.1	29.9	12.8
江戸川区(区立)	23.2	24.0	29.6	23.2
東京都(公立)	26.5	27.0	27.4	19.0
全国(公立)	20.9	25.1	30.4	23.8

【平均正答率の差】

瑞江第二中学校	58%
江戸川区(区立)	49%
東京都(公立)	53%
全国(公立)	48.3%
都との差	5ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

・都の平均と比べて、「知識・技能」は 5.1 ポイント、「思考・判断・表現」5.2 ポイント上回っている。
<授業改善>
各単元の基礎の定着を目指して授業展開していく。学びあいや ICT を用いた授業を行い、理解できる機会を増やしていく必要がある。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒を A、B、C、D 層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。